平成 30 年度　病院事業決算状況　　都道府県名　長崎県　　総務省

－ 目次 －

市町村・組合名	病院名	ページ
長崎市	長崎みなとメディカルセンター	2
佐世保市	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター	3
佐世保市	地方独立行政法人 北松中央病院	4
大村市	市立大村市民病院	5
平戸市	国民健康保険平戸市民病院	6
平戸市	平戸市立生月病院	7
雲仙・南島原保健組合（事業会計分）	公立新小浜病院	8
長崎県病院企業団	五島中央病院	9
長崎県病院企業団	富江病院	10
長崎県病院企業団	上五島病院	11
長崎県病院企業団	上対馬病院	12
長崎県病院企業団	精神医療センター	13
長崎県病院企業団	島原病院	14
長崎県病院企業団	壱岐病院	15
長崎県病院企業団	対馬病院	16

病院事業決算状況

(30 年度)

都道府県名	長崎県
市町村・組合名	長崎市
病院名	長崎みなとメディカルセンター

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-	類似区分	500床以上

病床利用率・平均在院日数　(%・日)

区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口 (人)		429,508
決算規模 (千円)		207,733,195
標準財政規模 (千円)		99,391,617
財政力指数		0.59
経常収支比率 (%)		97.5
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	7.6
	将来負担比率 (%)	69.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	36,350			
1 経常収益	36,350			
(1) 医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	36,350			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	36,350			
2 経常費用	36,350			
(1) 医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	56.0	49.8
② 材料費	-	-	24.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.8
③ 減価償却費	-	-	9.2	8.3
④ 経費	-	-	23.2	20.7
(うち委託料)	-	-	11.3	11.4
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	36,350			
(うち支払利息)	36,350	-	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	99.5
医業収支比率	-		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	90.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円・%)

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

他会計からの繰入状況　(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(30 年度)

都道府県名	長崎県
市町村・組合名	佐世保市
病院名	地方独立行政法人　佐世保市総合医療センター

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-	類似区分	500床以上

病床利用率・平均在院日数

(%・日)

区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口 (人)		255,439
決算規模 (千円)		118,935,923
標準財政規模 (千円)		60,044,931
財政力指数		0.52
経常収支比率 (%)		92.5
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	4.6
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書

(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	42,584			
1 経常収益	42,584			
(1) 医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	42,584			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	42,584			
2 経常費用	42,584			
(1) 医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	56.0	49.8
② 材料費	-	-	24.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.8
③ 減価償却費	-	-	9.2	8.3
④ 経費	-	-	23.2	20.7
(うち委託料)	-	-	11.3	11.4
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	42,584			
(うち支払利息)	42,584	-	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	99.5
医業収支比率	-		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	90.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

(千円・%)

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

病院事業決算状況

(30 年度)

都道府県名	長崎県
市町村・組合名	佐世保市
病院名	地方独立行政法人　北松中央病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-	類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数

(%・日)

区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口 (人)		255,439
決算規模 (千円)		118,935,923
標準財政規模 (千円)		60,044,931
財政力指数		0.52
経常収支比率 (%)		92.5
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	4.6
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書

(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,791			
1 経常収益	16,791			
(1) 医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	16,791			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,791			
2 経常費用	16,791			
(1) 医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	56.0	61.8
② 材料費	-	-	24.1	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.2
③ 減価償却費	-	-	9.2	10.4
④ 経費	-	-	23.2	29.9
(うち委託料)	-	-	11.3	12.9
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	16,791			
(うち支払利息)	16,791	-	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

(千円・%)

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(30 年度)

都道府県名	長崎県
市町村・組合名	大村市
病院名	市立大村市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	16,328 ㎡	指定病院の状況	救臨感輪
診療科数	22	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
ＤＰＣ対象病院	対象	類似区分	200床以上～300床未満

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	212	93.0	93.4	67.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	29.5	2.1	-
計	216	91.9	91.7	66.3
平均在院日数（一般病床のみ）		20.5	20.8	13.8

設立団体の状況

人口 (人)		92,757
決算規模 (千円)		46,085,783
標準財政規模 (千円)		19,477,026
財政力指数		0.63
経常収支比率 (%)		97.1
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	7.4
	将来負担比率 (%)	65.0

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	39,507	73,653
資本勘定繰入	250,120	460,364
計	289,627	534,017

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	487,977			
1 経常収益	487,977			
(1) 医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	487,977			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	73,653			
(うち長期前受金戻入)	414,272			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	723,370			
2 経常費用	723,216			
(1) 医業費用	656,705			
① 職員給与費	2,392	-	56.0	59.3
② 材料費	-	-	24.1	19.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
③ 減価償却費	650,231	-	9.2	10.3
④ 経費	4,082	-	23.2	27.6
(うち委託料)	2,118	-	11.3	12.3
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	66,511			
(うち支払利息)	66,511	-	1.6	1.7
(3) 特別損失	154			
損益 経常損益	-235,239			
損益 純損益	-235,393			
累積欠損金	1,730,854			
経常収支比率	67.5		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	15.1		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	15.1		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	57.3		86.0	83.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	8,322,622
1 固定資産	8,274,793
(1) 有形固定資産	8,274,793
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	47,829
(1) 現金及び預金	46,885
(2) 未収金及び未収収益	944
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	9,182,738
1 固定負債	7,391,658
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,091,658
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	300,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	472,888
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	465,612
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	6,567
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,318,192
(1) 長期前受金	3,954,892
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	2,636,700
資本合計	-860,116
1 資本金	629,464
2 剰余金	-1,489,580
(1) 資本剰余金	241,274
(2) 利益剰余金	-1,730,854
負債・資本合計	8,322,622
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	860,116
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(30 年度)

都道府県名	長崎県
市町村・組合名	平戸市
病院名	国民健康保険平戸市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	7,703 ㎡	指定病院の状況	救
診療科数	7	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-	類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	58	88.0	88.4	88.5
療養	42	75.3	84.2	82.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	82.6	86.6	85.9
平均在院日数（一般病床のみ）		16.5	17.2	17.2

設立団体の状況

人口 (人)		31,920
決算規模 (千円)		24,516,355
標準財政規模 (千円)		13,308,065
財政力指数		0.24
経常収支比率 (%)		92.5
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	5.7
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	79.0
修正医業収支金額 (千円)	1,166,000

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	256,472	256,472
資本勘定繰入	105,394	105,394
計	361,866	361,866

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	10.8
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,560,684			
１ 経常収益	1,505,459			
（1）医業収益	1,224,486			
① 入院収益	681,417			
② 外来収益	361,235			
診療収入計	1,042,652			
③ その他医業収益	181,834			
（うち他会計負担金）	58,486			
（2）医業外収益	280,973			
（うち国・都道府県補助金）	773			
（うち他会計補助・負担金）	197,986			
（うち長期前受金戻入）	73,284			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	55,225			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,542,509			
２ 経常費用	1,538,827			
（1）医業費用	1,475,251			
① 職員給与費	910,314	74.3	56.0	61.8
② 材料費	131,703	10.8	24.1	17.7
（うち薬品費）	70,577	5.8	12.6	8.9
（うち薬品費以外の医薬材料費）	61,126	5.0	11.1	8.2
③ 減価償却費	124,236	10.1	9.2	10.4
④ 経費	302,925	24.7	23.2	29.9
（うち委託料）	174,526	14.3	11.3	12.9
⑤ 研究研修費	2,804			
⑥ 資産減耗費	3,269			
（2）医業外費用	63,576			
（うち支払利息）	30,574	2.5	1.6	1.7
（3）特別損失	3,682			
損益 経常損益	-33,368			
損益 純損益	18,175			
累積欠損金	50,280			
経常収支比率	97.8		98.2	96.7
医業収支比率	83.0		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	17.0		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	20.9		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	16.4		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	81.2		86.0	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	3,499,836
１ 固定資産	2,573,915
（1）有形固定資産	2,569,227
（2）無形固定資産	1,905
（3）投資その他の資産	2,783
２ 流動資産	925,921
（1）現金及び預金	650,732
（2）未収金及び未収収益	262,812
（3）貸倒引当金（△）	8,501
（4）貯蔵品	20,186
３ 繰延資産	-
負債合計	2,408,364
１ 固定負債	1,325,700
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	838,442
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	485,703
（7）リース債務	1,555
２ 流動負債	354,547
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	164,484
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	93,068
（6）リース債務	1,555
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	91,792
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	728,117
（1）長期前受金	1,950,578
（2）長期前受金収益化累計額（△）	1,222,461
資本合計	1,091,472
１ 資本金	1,143,059
２ 剰余金	-51,587
（1）資本剰余金	148,078
（2）利益剰余金	-199,665
負債・資本合計	3,499,836
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(30 年度)

都道府県名	長崎県
市町村・組合名	平戸市
病院名	平戸市立生月病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	3,066 ㎡	指定病院の状況	救 臨
診療科数	5	看護配置	１３：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	60	76.5	77.9	79.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	76.5	77.9	79.2
平均在院日数（一般病床のみ）		27.5	28.5	27.5

設立団体の状況

人口 (人)		31,920
決算規模 (千円)		24,516,355
標準財政規模 (千円)		13,308,065
財政力指数		0.24
経常収支比率 (%)		92.5
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	5.7
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	78.9
修正医業収支金額 (千円)	585,840

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	142,774	142,774
資本勘定繰入	38,084	38,084
計	180,858	180,858

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	10.8
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	757,647			
１ 経常収益	757,100			
（1）医業収益	628,166			
① 入院収益	373,056			
② 外来収益	183,429			
診療収入計	556,485			
③ その他医業収益	71,681			
（うち他会計負担金）	42,326			
（2）医業外収益	128,934			
（うち国・都道府県補助金）	864			
（うち他会計補助・負担金）	100,448			
（うち長期前受金戻入）	22,704			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	547			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	763,368			
２ 経常費用	761,665			
（1）医業費用	742,466			
① 職員給与費	489,880	78.0	56.0	71.8
② 材料費	67,077	10.7	24.1	16.5
（うち薬品費）	38,160	6.1	12.6	10.1
（うち薬品費以外の医薬材料費）	28,917	4.6	11.1	5.6
③ 減価償却費	49,866	7.9	9.2	12.2
④ 経費	132,728	21.1	23.2	31.2
（うち委託料）	75,238	12.0	11.3	12.3
⑤ 研究研修費	1,261			
⑥ 資産減耗費	1,654			
（2）医業外費用	19,199			
（うち支払利息）	1,088	0.2	1.6	1.9
（3）特別損失	1,703			
損益 経常損益	-4,565			
損益 純損益	-5,721			
累積欠損金	149,385			
経常収支比率	99.4		98.2	97.1
医業収支比率	84.6		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	18.9		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	22.7		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	18.8		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	80.7		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	3,499,836
１ 固定資産	2,573,915
（1）有形固定資産	2,569,227
（2）無形固定資産	1,905
（3）投資その他の資産	2,783
２ 流動資産	925,921
（1）現金及び預金	650,732
（2）未収金及び未収収益	262,812
（3）貸倒引当金（△）	8,501
（4）貯蔵品	20,186
３ 繰延資産	-
負債合計	2,408,364
１ 固定負債	1,325,700
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	838,442
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	485,703
（7）リース債務	1,555
２ 流動負債	354,547
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	164,484
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	93,068
（6）リース債務	1,555
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	91,792
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	728,117
（1）長期前受金	1,950,578
（2）長期前受金収益化累計額（△）	1,222,461
資本合計	1,091,472
１ 資本金	1,143,059
２ 剰余金	-51,587
（1）資本剰余金	148,078
（2）利益剰余金	-199,665
負債・資本合計	3,499,836
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(30 年度)

都道府県名	長崎県
市町村・組合名	雲仙・南島原保健組合（事業会計分）
病院名	公立新小浜病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	7,857 ㎡	指定病院の状況	救　輪
診療科数	16	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
ＤＰＣ対象病院	対象	類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	90	89.5	90.7	90.8
療養	60	88.7	91.1	83.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	89.2	90.9	87.9
平均在院日数（一般病床のみ）		17.5	17.3	16.9

設立団体の状況

人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	1.6
修正医業収支金額 (千円)	4,856

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	346,252			
1 経常収益	346,252			
(1) 医業収益	4,856			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	4,856			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	341,396			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	308,204			
(うち長期前受金戻入)	29,554			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	329,318			
2 経常費用	329,318			
(1) 医業費用	294,408			
① 職員給与費	31,302	644.6	56.0	61.8
② 材料費	-	-	24.1	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.2
③ 減価償却費	101,809	2096.6	9.2	10.4
④ 経費	161,142	3318.4	23.2	29.9
(うち委託料)	17,859	367.8	11.3	12.9
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	155			
(2) 医業外費用	34,910			
(うち支払利息)	12,456	256.5	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	16,934			
損益 純損益	16,934			
累積欠損金	-			
経常収支比率	105.1		98.2	96.7
医業収支比率	1.6		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	89.0		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	6346.9		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	89.0		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	11.6		86.0	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	4,165,333
1 固定資産	2,647,713
(1) 有形固定資産	2,647,621
(2) 無形固定資産	92
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,513,120
(1) 現金及び預金	1,232,266
(2) 未収金及び未収収益	280,854
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	4,500
負債合計	2,372,185
1 固定負債	1,130,136
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,130,136
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	526,008
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	136,479
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,234
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	387,147
(9) 前受金及び前受収益	148
3 繰延収益	716,041
(1) 長期前受金	1,132,680
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	416,639
資本合計	1,793,148
1 資本金	399,681
2 剰余金	1,393,467
(1) 資本剰余金	1,233,517
(2) 利益剰余金	159,950
負債・資本合計	4,165,333
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	48,372	308,204
資本勘定繰入	444,421	444,421
計	492,793	752,625

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(30 年度)

都道府県名	長崎県
市町村・組合名	長崎県病院企業団
病院名	五島中央病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	20,410 ㎡	指定病院の状況	救臨　感へ災　輪
診療科数	16	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満

病床利用率・平均在院日数

(%・日)

区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	230	63.8	68.8	70.3
療養	-	-	-	-
結核	10	1.1	5.4	9.2
精神	60	50.6	50.0	50.2
感染症	4	-	-	-
計	304	58.6	62.5	63.8
平均在院日数（一般病床のみ）		14.8	15.8	16.1

設立団体の状況

人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	78.9
修正医業収支金額 (千円)	4,057,017

損益計算書

(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,310,880			
1 経常収益	5,304,747			
(1) 医業収益	4,131,302			
① 入院収益	2,426,081			
② 外来収益	1,421,716			
診療収入計	3,847,797			
③ その他医業収益	283,505			
(うち他会計負担金)	74,285			
(2) 医業外収益	1,173,445			
(うち国・都道府県補助金)	58,269			
(うち他会計補助・負担金)	1,014,503			
(うち長期前受金戻入)	63,440			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,133			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,471,316			
2 経常費用	5,435,758			
(1) 医業費用	5,144,706			
① 職員給与費	2,638,560	63.9	56.0	57.1
② 材料費	989,069	23.9	24.1	23.9
(うち薬品費)	500,196	12.1	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	484,971	11.7	11.1	11.4
③ 減価償却費	490,814	11.9	9.2	9.5
④ 経費	995,700	24.1	23.2	22.0
(うち委託料)	504,844	12.2	11.3	10.8
⑤ 研究研修費	23,696			
⑥ 資産減耗費	6,867			
(2) 医業外費用	291,052			
(うち支払利息)	109,464	2.6	1.6	1.6
(3) 特別損失	35,558			
損益 経常損益	-131,011			
損益 純損益	-160,436			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.6		98.2	96.7
医業収支比率	80.3		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	20.5		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	26.4		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	20.5		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	77.6		86.0	85.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

(千円・%)

区分	決算額
資産合計	56,896,234
1 固定資産	43,047,028
(1) 有形固定資産	35,111,497
(2) 無形固定資産	530,003
(3) 投資その他の資産	7,405,528
2 流動資産	13,849,206
(1) 現金及び預金	9,891,758
(2) 未収金及び未収収益	3,822,355
(3) 貸倒引当金 (△)	97,853
(4) 貯蔵品	228,369
3 繰延資産	-
負債合計	35,872,457
1 固定負債	24,164,869
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,790,358
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	275,422
(6) 引当金	6,089,590
(7) リース債務	9,499
2 流動負債	5,608,846
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,007,767
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	37,807
(5) 引当金	895,733
(6) リース債務	6,215
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,385,011
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,098,742
(1) 長期前受金	9,333,193
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	3,234,451
資本合計	21,023,777
1 資本金	13,936,856
2 剰余金	7,086,921
(1) 資本剰余金	5,166,272
(2) 利益剰余金	1,920,649
負債・資本合計	56,896,234
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況

(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	575,426	1,088,788
資本勘定繰入	347,829	360,095
計	923,255	1,448,883

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(30 年度)

都道府県名	長崎県
市町村・組合名	長崎県病院企業団
病院名	富江病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	3,092 ㎡	指定病院の状況	救
診療科数	6	看護配置	１３：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	55	91.3	92.4	95.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	91.3	92.4	95.7
平均在院日数（一般病床のみ）		25.3	25.0	31.3

設立団体の状況

人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	91.8
修正医業収支金額 (千円)	590,351

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	774,862			
1 経常収益	774,343			
(1) 医業収益	626,645			
① 入院収益	456,165			
② 外来収益	113,644			
診療収入計	569,809			
③ その他医業収益	56,836			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	147,698			
(うち国・都道府県補助金)	480			
(うち他会計補助・負担金)	126,098			
(うち長期前受金戻入)	11,907			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	519			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	729,266			
2 経常費用	661,378			
(1) 医業費用	643,012			
① 職員給与費	417,370	66.6	56.0	71.8
② 材料費	78,341	12.5	24.1	16.5
(うち薬品費)	38,190	6.1	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	28,383	4.5	11.1	5.6
③ 減価償却費	48,686	7.8	9.2	12.2
④ 経費	95,171	15.2	23.2	31.2
(うち委託料)	22,504	3.6	11.3	12.3
⑤ 研究研修費	1,958			
⑥ 資産減耗費	1,486			
(2) 医業外費用	18,366			
(うち支払利息)	1,369	0.2	1.6	1.9
(3) 特別損失	67,888			
損益 経常損益	112,965			
損益 純損益	45,596			
累積欠損金	-			
経常収支比率	117.1		98.2	97.1
医業収支比率	97.5		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	21.0		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	25.9		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	21.0		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	92.5		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	56,896,234
1 固定資産	43,047,028
(1) 有形固定資産	35,111,497
(2) 無形固定資産	530,003
(3) 投資その他の資産	7,405,528
2 流動資産	13,849,206
(1) 現金及び預金	9,891,758
(2) 未収金及び未収収益	3,822,355
(3) 貸倒引当金 (△)	97,853
(4) 貯蔵品	228,369
3 繰延資産	-
負債合計	35,872,457
1 固定負債	24,164,869
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,790,358
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	275,422
(6) 引当金	6,089,590
(7) リース債務	9,499
2 流動負債	5,608,846
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,007,767
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	37,807
(5) 引当金	895,733
(6) リース債務	6,215
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,385,011
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,098,742
(1) 長期前受金	9,333,193
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	3,234,451
資本合計	21,023,777
1 資本金	13,936,856
2 剰余金	7,086,921
(1) 資本剰余金	5,166,272
(2) 利益剰余金	1,920,649
負債・資本合計	56,896,234
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	18,629	162,392
資本勘定繰入	47,346	47,346
計	65,975	209,738

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(30 年度)

都道府県名	長崎県
市町村・組合名	長崎県病院企業団
病院名	上五島病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	13,954 ㎡	指定病院の状況	救臨　感へ災
診療科数	18	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象	類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数

(%・日)

区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	132	79.0	87.0	91.0
療養	50	72.3	74.7	76.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	186	75.5	81.8	85.1
平均在院日数（一般病床のみ）		17.1	19.5	20.2

設立団体の状況

人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	86.0
修正医業収支金額 (千円)	3,811,075

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	110,188	357,574
資本勘定繰入	83,928	94,584
計	194,116	452,158

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書

(千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,341,845			
1 経常収益	4,339,853			
(1) 医業収益	3,850,763			
① 入院収益	1,910,410			
② 外来収益	1,609,073			
診療収入計	3,519,483			
③ その他医業収益	331,280			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	489,090			
(うち国・都道府県補助金)	42,578			
(うち他会計補助・負担金)	317,886			
(うち長期前受金戻入)	52,466			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,992			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,658,535			
2 経常費用	4,600,829			
(1) 医業費用	4,433,475			
① 職員給与費	2,365,097	61.4	56.0	61.8
② 材料費	881,708	22.9	24.1	17.7
(うち薬品費)	378,224	9.8	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	465,730	12.1	11.1	8.2
③ 減価償却費	428,171	11.1	9.2	10.4
④ 経費	708,576	18.4	23.2	29.9
(うち委託料)	138,434	3.6	11.3	12.9
⑤ 研究研修費	39,623			
⑥ 資産減耗費	10,300			
(2) 医業外費用	167,354			
(うち支払利息)	1,738	-	1.6	1.7
(3) 特別損失	57,706			
損益 経常損益	-260,976			
損益 純損益	-316,690			
累積欠損金	-			
経常収支比率	94.3		98.2	96.7
医業収支比率	86.9		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	8.2		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	9.3		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	8.2		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	86.6		86.0	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

(千円・%)

区分	決算額
資産合計	56,896,234
1 固定資産	43,047,028
(1) 有形固定資産	35,111,497
(2) 無形固定資産	530,003
(3) 投資その他の資産	7,405,528
2 流動資産	13,849,206
(1) 現金及び預金	9,891,758
(2) 未収金及び未収収益	3,822,355
(3) 貸倒引当金 (△)	97,853
(4) 貯蔵品	228,369
3 繰延資産	-
負債合計	35,872,457
1 固定負債	24,164,869
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,790,358
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	275,422
(6) 引当金	6,089,590
(7) リース債務	9,499
2 流動負債	5,608,846
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,007,767
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	37,807
(5) 引当金	895,733
(6) リース債務	6,215
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,385,011
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,098,742
(1) 長期前受金	9,333,193
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	3,234,451
資本合計	21,023,777
1 資本金	13,936,856
2 剰余金	7,086,921
(1) 資本剰余金	5,166,272
(2) 利益剰余金	1,920,649
負債・資本合計	56,896,234
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

病院事業決算状況

(30 年度)

都道府県名	長崎県
市町村・組合名	長崎県病院企業団
病院名	上対馬病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	5,554 ㎡	指定病院の状況	救　へ　輪
診療科数	14	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	60	66.7	72.7	68.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	66.7	72.7	68.7
平均在院日数（一般病床のみ）		23.1	24.5	19.6

設立団体の状況

人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	74.3
修正医業収支金額 (千円)	728,677

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,010,841			
1 経常収益	1,010,556			
(1) 医業収益	766,668			
① 入院収益	390,183			
② 外来収益	260,298			
診療収入計	650,481			
③ その他医業収益	116,187			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	243,888			
(うち国・都道府県補助金)	20,407			
(うち他会計補助・負担金)	168,601			
(うち長期前受金戻入)	32,304			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	285			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,073,713			
2 経常費用	1,031,056			
(1) 医業費用	980,314			
① 職員給与費	613,868	80.1	56.0	71.8
② 材料費	113,380	14.8	24.1	16.5
(うち薬品費)	50,112	6.5	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	54,588	7.1	11.1	5.6
③ 減価償却費	103,432	13.5	9.2	12.2
④ 経費	142,642	18.6	23.2	31.2
(うち委託料)	43,688	5.7	11.3	12.3
⑤ 研究研修費	3,180			
⑥ 資産減耗費	3,812			
(2) 医業外費用	50,742			
(うち支払利息)	4,849	0.6	1.6	1.9
(3) 特別損失	42,657			
損益 経常損益	-20,500			
損益 純損益	-62,872			
累積欠損金	55,683			
経常収支比率	98.0		98.2	97.1
医業収支比率	78.2		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	20.4		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	26.9		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	20.4		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	78.0		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	56,896,234
1 固定資産	43,047,028
(1) 有形固定資産	35,111,497
(2) 無形固定資産	530,003
(3) 投資その他の資産	7,405,528
2 流動資産	13,849,206
(1) 現金及び預金	9,891,758
(2) 未収金及び未収収益	3,822,355
(3) 貸倒引当金 (△)	97,853
(4) 貯蔵品	228,369
3 繰延資産	-
負債合計	35,872,457
1 固定負債	24,164,869
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,790,358
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	275,422
(6) 引当金	6,089,590
(7) リース債務	9,499
2 流動負債	5,608,846
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,007,767
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	37,807
(5) 引当金	895,733
(6) リース債務	6,215
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,385,011
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,098,742
(1) 長期前受金	9,333,193
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	3,234,451
資本合計	21,023,777
1 資本金	13,936,856
2 剰余金	7,086,921
(1) 資本剰余金	5,166,272
(2) 利益剰余金	1,920,649
負債・資本合計	56,896,234
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	25,963	206,592
資本勘定繰入	37,769	37,769
計	63,732	244,361

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(30 年度)

都道府県名	長崎県
市町村・組合名	長崎県病院企業団
病院名	精神医療センター

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	13,161 ㎡	指定病院の状況	臨　感
診療科数	3	看護配置	１５：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-	類似区分	精神病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	139	72.2	79.6	77.4
感染症	-	-	-	-
計	139	72.2	79.6	77.4
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	77.7
修正医業収支金額 (千円)	1,346,188

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	433,813	441,796
資本勘定繰入	18,569	18,569
計	452,382	460,365

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,854,710			
1 経常収益	1,854,036			
(1) 医業収益	1,391,347			
① 入院収益	1,110,366			
② 外来収益	200,806			
診療収入計	1,311,172			
③ その他医業収益	80,175			
(うち他会計負担金)	45,159			
(2) 医業外収益	462,689			
(うち国・都道府県補助金)	5,782			
(うち他会計補助・負担金)	396,637			
(うち長期前受金戻入)	52,125			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	674			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,857,154			
2 経常費用	1,768,599			
(1) 医業費用	1,733,476			
① 職員給与費	1,200,180	86.3	56.0	96.0
② 材料費	155,957	11.2	24.1	8.6
(うち薬品費)	136,514	9.8	12.6	6.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,746	1.3	11.1	1.0
③ 減価償却費	114,631	8.2	9.2	12.5
④ 経費	250,187	18.0	23.2	34.0
(うち委託料)	126,410	9.1	11.3	16.5
⑤ 研究研修費	11,495			
⑥ 資産減耗費	1,026			
(2) 医業外費用	35,123			
(うち支払利息)	2,468	0.2	1.6	3.2
(3) 特別損失	88,555			
損益 経常損益	85,437			
損益 純損益	-2,444			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.8		98.2	100.0
医業収支比率	80.3		88.3	65.9
他会計繰入金対経常収益比率	23.8		12.5	34.0
他会計繰入金対医業収益比率	31.8		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	23.8		12.5	33.9
実質収益対経常費用比率	79.9		86.0	66.0

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	56,896,234
1 固定資産	43,047,028
(1) 有形固定資産	35,111,497
(2) 無形固定資産	530,003
(3) 投資その他の資産	7,405,528
2 流動資産	13,849,206
(1) 現金及び預金	9,891,758
(2) 未収金及び未収収益	3,822,355
(3) 貸倒引当金 (△)	97,853
(4) 貯蔵品	228,369
3 繰延資産	-
負債合計	35,872,457
1 固定負債	24,164,869
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,790,358
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	275,422
(6) 引当金	6,089,590
(7) リース債務	9,499
2 流動負債	5,608,846
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,007,767
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	37,807
(5) 引当金	895,733
(6) リース債務	6,215
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,385,011
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,098,742
(1) 長期前受金	9,333,193
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	3,234,451
資本合計	21,023,777
1 資本金	13,936,856
2 剰余金	7,086,921
(1) 資本剰余金	5,166,272
(2) 利益剰余金	1,920,649
負債・資本合計	56,896,234
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(30 年度)

都道府県名	長崎県
市町村・組合名	長崎県病院企業団
病院名	島原病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	21,076 ㎡	指定病院の状況	救臨が感　災地　輪
診療科数	17	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象	類似区分	200床以上～300床未満

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	250	77.2	82.6	76.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	254	75.9	81.3	75.0
平均在院日数（一般病床のみ）		14.3	14.5	14.1

設立団体の状況

人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	91.3
修正医業収支金額 (千円)	5,030,141

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	476,802	495,940
資本勘定繰入	377,488	456,289
計	854,290	952,229

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,639,305			
1 経常収益	5,624,452			
(1) 医業収益	5,153,863			
① 入院収益	3,687,245			
② 外来収益	1,244,825			
診療収入計	4,932,070			
③ その他医業収益	221,793			
(うち他会計負担金)	123,722			
(2) 医業外収益	470,589			
(うち国・都道府県補助金)	31,616			
(うち他会計補助・負担金)	372,218			
(うち長期前受金戻入)	50,033			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	14,853			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,916,324			
2 経常費用	5,808,869			
(1) 医業費用	5,510,173			
① 職員給与費	2,810,156	54.5	56.0	59.3
② 材料費	1,248,123	24.2	24.1	19.3
(うち薬品費)	723,006	14.0	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	524,437	10.2	11.1	9.2
③ 減価償却費	458,130	8.9	9.2	10.3
④ 経費	957,083	18.6	23.2	27.6
(うち委託料)	438,309	8.5	11.3	12.3
⑤ 研究研修費	17,523			
⑥ 資産減耗費	19,158			
(2) 医業外費用	298,696			
(うち支払利息)	98,408	1.9	1.6	1.7
(3) 特別損失	107,455			
損益 経常損益	-184,417			
損益 純損益	-277,019			
累積欠損金	974,471			
経常収支比率	96.8		98.2	96.7
医業収支比率	93.5		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	8.8		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	9.6		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	8.8		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	88.3		86.0	83.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	56,896,234
1 固定資産	43,047,028
(1) 有形固定資産	35,111,497
(2) 無形固定資産	530,003
(3) 投資その他の資産	7,405,528
2 流動資産	13,849,206
(1) 現金及び預金	9,891,758
(2) 未収金及び未収収益	3,822,355
(3) 貸倒引当金 (△)	97,853
(4) 貯蔵品	228,369
3 繰延資産	-
負債合計	35,872,457
1 固定負債	24,164,869
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,790,358
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	275,422
(6) 引当金	6,089,590
(7) リース債務	9,499
2 流動負債	5,608,846
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,007,767
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	37,807
(5) 引当金	895,733
(6) リース債務	6,215
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,385,011
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,098,742
(1) 長期前受金	9,333,193
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	3,234,451
資本合計	21,023,777
1 資本金	13,936,856
2 剰余金	7,086,921
(1) 資本剰余金	5,166,272
(2) 利益剰余金	1,920,649
負債・資本合計	56,896,234
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(30 年度)

都道府県名	長崎県
市町村・組合名	長崎県病院企業団
病院名	壱岐病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	12,290 ㎡	指定病院の状況	救　感　災　輪
診療科数	17	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象	類似区分	200床以上～300床未満

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	120	97.2	94.7	93.4
療養	48	94.2	90.2	87.6
結核	6	3.3	6.9	5.1
精神	50	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	228	71.1	69.0	67.7
平均在院日数（一般病床のみ）		18.0	17.5	19.4

設立団体の状況

人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	88.5
修正医業収支金額 (千円)	2,861,245

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,372,335			
1 経常収益	3,364,371			
(1) 医業収益	2,904,327			
① 入院収益	1,896,509			
② 外来収益	802,073			
診療収入計	2,698,582			
③ その他医業収益	205,745			
(うち他会計負担金)	43,082			
(2) 医業外収益	460,044			
(うち国・都道府県補助金)	3,824			
(うち他会計補助・負担金)	414,970			
(うち長期前受金戻入)	23,363			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,964			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,499,260			
2 経常費用	3,410,383			
(1) 医業費用	3,233,382			
① 職員給与費	1,877,562	64.6	56.0	59.3
② 材料費	557,470	19.2	24.1	19.3
(うち薬品費)	233,505	8.0	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	285,252	9.8	11.1	9.2
③ 減価償却費	269,790	9.3	9.2	10.3
④ 経費	505,441	17.4	23.2	27.6
(うち委託料)	227,022	7.8	11.3	12.3
⑤ 研究研修費	13,739			
⑥ 資産減耗費	9,380			
(2) 医業外費用	177,001			
(うち支払利息)	52,478	1.8	1.6	1.7
(3) 特別損失	88,877			
損益 経常損益	-46,012			
損益 純損益	-126,925			
累積欠損金	577,299			
経常収支比率	98.7		98.2	96.7
医業収支比率	89.8		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	13.6		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	15.8		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	13.6		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	85.2		86.0	83.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	56,896,234
1 固定資産	43,047,028
(1) 有形固定資産	35,111,497
(2) 無形固定資産	530,003
(3) 投資その他の資産	7,405,528
2 流動資産	13,849,206
(1) 現金及び預金	9,891,758
(2) 未収金及び未収収益	3,822,355
(3) 貸倒引当金 (△)	97,853
(4) 貯蔵品	228,369
3 繰延資産	-
負債合計	35,872,457
1 固定負債	24,164,869
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,790,358
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	275,422
(6) 引当金	6,089,590
(7) リース債務	9,499
2 流動負債	5,608,846
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,007,767
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	37,807
(5) 引当金	895,733
(6) リース債務	6,215
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,385,011
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,098,742
(1) 長期前受金	9,333,193
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	3,234,451
資本合計	21,023,777
1 資本金	13,936,856
2 剰余金	7,086,921
(1) 資本剰余金	5,166,272
(2) 利益剰余金	1,920,649
負債・資本合計	56,896,234
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	190,508	458,052
資本勘定繰入	96,775	131,630
計	287,283	589,682

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(30 年度)

都道府県名	長崎県
市町村・組合名	長崎県病院企業団
病院名	対馬病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	19,812 ㎡	指定病院の状況	救臨が感へ災　輪
診療科数	25	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象	類似区分	200床以上～300床未満

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	222	74.2	80.5	86.2
療養	-	-	-	-
結核	4	11.8	23.1	-
精神	45	81.3	74.5	71.8
感染症	4	-	-	-
計	275	73.4	77.5	81.3
平均在院日数（一般病床のみ）		15.6	16.9	19.1

設立団体の状況

人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	79.5
修正医業収支金額 (千円)	4,515,478

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	327,318	675,971
資本勘定繰入	113,615	133,287
計	440,933	809,258

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,372,556			
1 経常収益	5,366,351			
(1) 医業収益	4,555,166			
① 入院収益	2,779,243			
② 外来収益	1,416,696			
診療収入計	4,195,939			
③ その他医業収益	359,227			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	811,185			
(うち国・都道府県補助金)	28,227			
(うち他会計補助・負担金)	636,283			
(うち長期前受金戻入)	89,979			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,205			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,970,839			
2 経常費用	5,897,027			
(1) 医業費用	5,680,780			
① 職員給与費	3,185,198	69.9	56.0	59.3
② 材料費	945,270	20.8	24.1	19.3
(うち薬品費)	344,621	7.6	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	541,221	11.9	11.1	9.2
③ 減価償却費	695,149	15.3	9.2	10.3
④ 経費	836,195	18.4	23.2	27.6
(うち委託料)	368,712	8.1	11.3	12.3
⑤ 研究研修費	16,160			
⑥ 資産減耗費	2,808			
(2) 医業外費用	216,247			
(うち支払利息)	44,054	1.0	1.6	1.7
(3) 特別損失	73,812			
損益 経常損益	-530,676			
損益 純損益	-598,283			
累積欠損金	1,290,038			
経常収支比率	91.0		98.2	96.7
医業収支比率	80.2		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	12.6		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	14.8		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	12.6		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	79.5		86.0	83.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	56,896,234
1 固定資産	43,047,028
(1) 有形固定資産	35,111,497
(2) 無形固定資産	530,003
(3) 投資その他の資産	7,405,528
2 流動資産	13,849,206
(1) 現金及び預金	9,891,758
(2) 未収金及び未収収益	3,822,355
(3) 貸倒引当金 (△)	97,853
(4) 貯蔵品	228,369
3 繰延資産	-
負債合計	35,872,457
1 固定負債	24,164,869
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,790,358
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	275,422
(6) 引当金	6,089,590
(7) リース債務	9,499
2 流動負債	5,608,846
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,007,767
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	37,807
(5) 引当金	895,733
(6) リース債務	6,215
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,385,011
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,098,742
(1) 長期前受金	9,333,193
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	3,234,451
資本合計	21,023,777
1 資本金	13,936,856
2 剰余金	7,086,921
(1) 資本剰余金	5,166,272
(2) 利益剰余金	1,920,649
負債・資本合計	56,896,234
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。